

(様式2) 平成 27 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590200069		
法人名	社会福祉法人 能代市社会福祉協議会		
事業所名	能代市緑町グループホーム		
所在地	秋田県能代市緑町7-17 (電話)0185-54-8511		
自己評価作成日	平成27年12月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田ハッピーライフセンター		
所在地	秋田市将軍野桂町5番5号		
訪問調査日	平成28年1月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

併設になっている緑町デイサービスと養護老人ホームとは行事等や防災訓練など交流が盛んに行われている。毎日の生活に張り合いがもてるようにしている。安心と安全を第一に考えている。夜勤者も専任で2名配置して、緊急時にも迅速に対応出来るようにしている。暖かい雰囲気の中で毎日を送ることが出来るように業務についています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所施設内には、同法人の養護老人ホームやデイサービスセンターが併設されており、災害時や利用者が重度化した場合の対応など日々のケアに関して連携体制を構築している。また、事業所独自の家族アンケート集計結果を運営推進会議で報告し、サービス向上に活かしている。地域との交流にも力を入れており、踊りボランティアや保育園児が来所するなど利用者が地域で暮らし続けるための基盤づくりに積極的に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念に基づき、職員は行っている。入居者それぞれの自分らしい生活を支援出来るように、職員が取り組んでいる。	会議等で理念を振り返る機会を持ち、理念の実現に向けてケアに取り組んでいる。全職員がホームの理念を理解しており、家庭的な雰囲気の中で個々に配慮したサービスが提供できるように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会や近隣の住民の方々に行事(夏祭り、餅つき大会等)に参加して頂き、交流してもらっている。	町内会に加入し地域との連帯感が強く、施設内主催の行事や避難訓練などに地域住民が積極的に参加するなど、事業所と共に支え合う関係づくりに取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	自治会や地域の住民の相談にきたときには、話を聞いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに運営推進会議を行っている。行事や防災訓練、事業の報告などを伝えて、意見を頂いている。サービス向上に反映できるように取り組んでいる。	運営推進会議は2ヶ月毎に開かれ、行事運営及び利用者状況報告等を議題に話し合われている。また、会議には家族も参加し、日々の気づきを話し合い、職員がどのように関わることが焦りのないケアを提供できるかなど、話し合いが持たれている。	一層のサービス向上を図るため、福祉分野に精通している民生委員を会議の一員とされることを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月1回は事業所に訪問して頂き、情報交換等行っている。サービス向上に向けて改善したところなど伝えている。	運営推進会議の参加と日常的に市の担当者との間で連絡を取り合っており、実情報告や改善点へのアドバイスを得たりするなど連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理念に基づき、身体拘束はしないケアに取り組んでいる。入居者に対しての接遇・マナーの研修など行っている。	法人全体で身体拘束防止に取り組んでおり、法人主催の研修会に参加するほか、当ホーム独自でも研修を行っている。転倒や帰宅願望などにも見守りや寄り添いで安全を確保しながら、自由に活動し暮らしてもらえるように、全職員で知恵を出し合ってケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で意見の交換や確認など行い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	遠方にいる入居者のご家族からの相談などでは権利擁護などの内容や様々なサービスがあることを説明して支援に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を使用して、十分な説明をしている。本人、家族からの疑問や質問に対して、柔らかい言葉を使い説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を見えやすい場所に設置している。会話のなかから、ご本人、ご家族の思いや考えなど聞き取っている。	家族との面会時や独自の「家族アンケート」を実施するなど、気軽に意見や要望が言えるような環境づくりに努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	社会福祉協議会全体で年2回のアンケートを実施して、勤務状況やストレスについて聞き取れるようにしている。意見や不満等についての訴えがある場合には管理者等が話を聞いている。	管理者は日々の業務の中で職員の意見や提案を聞くよう心がけている。改善点や気になる事項については必要性を全職員で検討し、ホームの運営に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ、資格取得により給与に反映するようにしている。職員個々に役割をつけることにより、やりがいを感じられるようにしている。話しやすい職場環境を作りをしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症や感染症、マナー・接遇の内部研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修等を通じて交流する機会を作っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が話しやすい環境と雰囲気作りに努めている。ご本人の言葉を受け止めて対応できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族とどのような形で支援しているのか話をしている。個々の入居者それぞれが安心して生活出来るように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者同士と一緒に作業出来ることを見つけて行ったり、職員と一緒に作業するなどそれぞれが出来ることを見つけて行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の希望や考えなど話を聞いて、ご本人を支えていく関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や親戚、友人など付き合いが途切れないように年賀状を送っている。電話での会話も自由にしている。	利用者からの希望に応じて、家族へ面会や外出を依頼したり、電話や手紙を送る際に支援をしている。日々の利用者と家族のやり取りを工夫し、家族の協力を得ながら、馴染みの関係者との継続支援への取り組みがされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が見守ることで、入所者同士の交流が出来ている。職員が声がけすることで、和やかに入所者同士の関係性が保たれている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	わからないときにはいつでも相談して欲しいとご家族にもいつも話している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人からの訴えや要望などは真摯に受け止めている。安心して話せるように心掛けている。	職員は一人ひとりの思いや意向について「親身に話を聴く」という意識を持って取り組んでいる。思いをうまく伝えられない利用者に対しても、ゆっくりと時間をかけて関わることで、表情やしぐさから本人の意向を把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人とご家族からの情報で過去の生活歴や人間関係などを把握して考慮しながらご本人と向き合っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の性格や健康状態を見ながら、一人一人に合わせた生活を過ごしてもらっている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から意向を聞いている。職員からも現状の課題を話し合い、職員会議で検討している。	本人や家族からの要望を確認し、利用者の能力や健康状態を把握しながら、本人本位の介護計画を作成している。モニタリングは月1回の職員会議で行い、心身の変化の際には随時見直して現状に即した介護計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケースファイル、申し送り等で記録して情報を伝えている。記録を基に介護計画に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア訪問も多く、幼稚園から老人会まで幅広くきて頂き、一緒に参加して交流している。歌や踊り、お茶会または草取りなど様々な人々に触れることが出来ている。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力でかかりつけ医への受診、または往診、訪問歯科など個々に合わせて支援している。病院、薬局等の連携も出来ている。	契約時に本人及び家族と相談し、希望するかかりつけ医があれば継続して受診できるように支援している。利用者の変化や健康面で心配事がある場合も、かかりつけ医や協力医療機関の専門医と適切な受診に向けた関係づくりが出来ている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設している施設の看護師と連携が取れているため、相談やアドバイスをもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご本人・家族の考えを聞き話し合いながら、医師や看護師と相談している。そのため、退院時にはすぐに迎え入れられるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	適切な支援が出来るように、家族と話し合いの場を持つようにしている。職員も情報を共有している。	契約時に重度化や終末期の対応について、事業所の方針と共に、支援できる内容の説明を利用者家族に行っている。利用者や家族の意向をできるだけ尊重し、主治医や医療機関と常に連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全員がAED装置、人工呼吸などの救命講習を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、防災訓練を実施している。消防署、自治会からもきょうりょくしてもらっている。自治会とは災害協力協定を結んでいる。	マニュアルを作成し、年2回地区住民も参加し消防署の協力を得て消防避難訓練を実施している。また、災害時における近隣住民との協力体制も出来ており、備蓄の確保等や設備の点検等も定期的に行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者個々の考え方や生活リズムを理解しながら他入居者と交流できるように配慮している。食事、入浴、排泄等に関してゆっくりと時間を使い、本人に合わせながら支援出来るようにしている。	職員は日頃から声かけ等には注意を払い、利用者の表情や、しぐさから思いの把握に努めて、一人ひとりがその人らしく生活できるよう接している。会話は親しく取り交わされており、一人ひとりの個性を大切にした対応で、ホーム内は明るく活気に満ちている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の考えや思いを言葉に出来る和やかな環境を作っている。入居者それぞれの考えや思いについて話されているときは、ゆっくりと最後まで聞いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の考えや行動を大事にして、見守っている。ご本人が出来ることは見守り、出来るようなことを援助しながら、支援出来るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	2ヶ月に1度、訪問理容を利用している。洋服などは好みを理解した上で、洋服屋さんへ衣類を持って来てもらい、入居者に選んでもらったりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、調理、片付けなど入居者個々に出来るところを手伝ってもらったりしている。おやつなど手作りする時には他入居者と交流しながら行っている。	職員は、利用者に食事のできる喜びを感じてもらえるよう、食事の見守りや利用者のペースに合わせた介助が行われている。利用者との会話から出た希望のメニューが献立に取り組みられることもあり、苦手な食材に関しては代替えのもので対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の栄養士から指導をもらっている。バランスの取れた食事提供に努めている。水分の摂取は毎日、こまめに摂っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声かけをして、必要な方には支援を行っている。夜間は義歯を預かり洗浄剤の使用を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンや表情等を確認してトイレでの排泄が出来るように支援している。日中はなるべくリハビリパンツの使用を減らしている	排泄記録やしぐさ等から排泄パターンを把握し、トイレ誘導をしている。失禁時の対応もさりげない声かけにより、羞恥心や不安を取り除く対応を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事を摂り、こまめな水分補給をしている。体調に合わせてヨーグルトを食べたり配慮している。体操などの軽い運動を毎日している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日おきに4、5人が入浴している。入浴のない日は清拭、足浴している。本人の希望で入浴したくないときは調整して別の日にしている。	入浴は、利用者のその日の希望を確認してから支援している。入浴拒否の利用者には時間をずらし、気分を変えて納得してから楽しんで入浴できるような工夫をしている。入浴を能力の発揮や残存機能向上の機会と捉え、入浴介助見守りで安全に入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の体調や生活のリズムに出来るだけ合わせてゆっくりと休息してもらい、過ごしてもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送り帳を活用して、個々の薬について申し送りをして理解出来るようにしている。薬の変更後の状態など記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に役割をもち、日課で行ってもらえるように支援している。行事やレクリエーションなどへの参加を促して気分転換や楽しめる環境を増やすように努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	花見や紅葉、祭りなど出来るだけ参加を呼びかけて外出する機会を設けている。併設施設との合同行事や自治会との行事等にも参加している。買い物なども行っている。	日光にあたる機会が必要と考え、天気の良い日にはホーム周辺や近くの公園に出かけるなど、散歩を楽しんでいる。また、併設施設の催しに参加したり、月に1～2回行きたい場所の希望をとり外出支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設でお小遣いとして預かっている入居者には必要な物品や衣類等、要望を聞いたり選んでもらったりして購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの希望や家族から電話があったときには使用出来るようにしている。毎年、年賀状を入居者が書いて送っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物を置いたり、頂いた手作りのプレゼントなど飾っている。トイレ内も掃除をこまめに行い、空気清浄機を置いて、清潔にしている。カーテンも2枚取り付けており、天気によって使い分けて使用している。	共用空間は広く、開放感があり、明るく、季節感のある飾り付けをしたり、空調にも特に配慮し、温度、湿度も確認され家庭的な雰囲気を感じられる。居間、食堂には利用者が作った飾り付けがされ、利用者が住み慣れた住環境の継続に繋がっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	テーブルや椅子、ソファなどを置いて好きな場所でくつろげるように設置している。和室なども利用出来るようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の居室には家族の写真やぬいぐるみ、花や造花などを置いて、過ごしやすい環境に努めている。	居室は安全性に配慮したうえで、利用者や家族と話し合う中で、使い慣れた家具の持ち込みを勧めている。使い慣れた家具や家族の写真などが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室には名前をつけて、ご本人が確認できるようにしている。トイレもわかるように表示している。歩行時に障害物など無いように安全に努めている。		